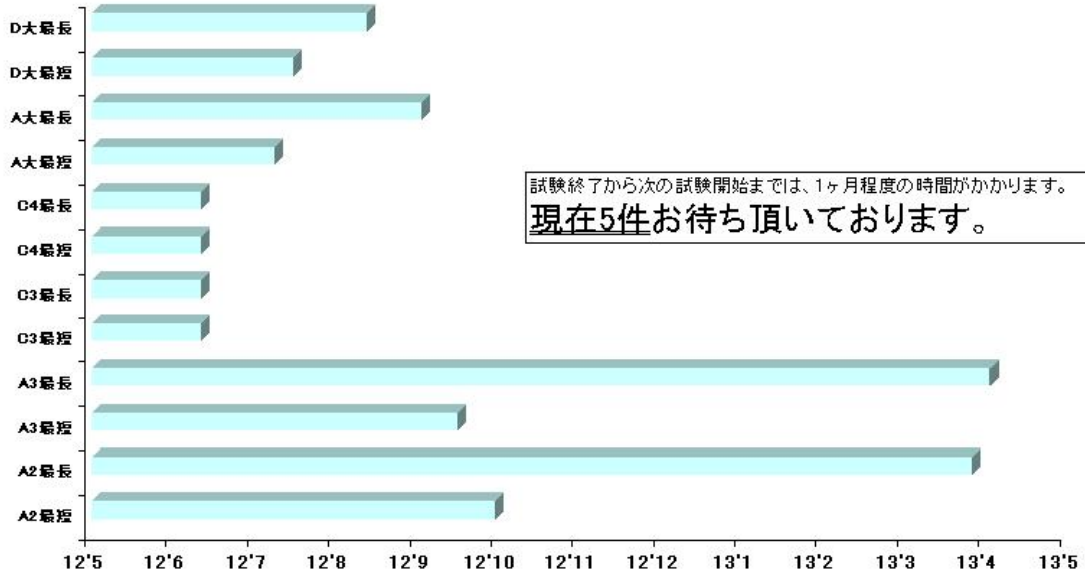


【浄化槽試験室使用状況】

5月1日における浄化槽試験所の試験室使用状況を公開します。



BCJ 評定部浄化槽試験所で稼働している6系統について、各系統の試験室使用状況を示すグラフです。各系統における「最短」と「最長」とは、試験ルール（浄化槽の性能評価方法、同細則、性能確認試験）の性格上以下のとおりとなります。

●最短

<性能評価試験>

1 基試験で、馴養期間は4週間、低温負荷試験8週間、温度移行馴養期間2週間、恒温通常負荷試験4週間、恒温短期負荷試験4週間で試験が順調に推移した場合で、試験成績がよい場合が相当します。

2 基試験の場合、【試験槽2】では馴養期間4週間、低温負荷試験8週間、【試験槽1】では馴養期間4週間、恒温通常負荷試験4週間、恒温短期負荷試験4週間となります。

<性能確認試験>

試験予定期間になります。

●最長

<性能評価試験>

1 基試験で、馴養期間は8週間、低温負荷試験8週間、温度移行馴養期間8週間、恒温通常負荷試験4週間、恒温短期負荷試験4週間、低温負荷試験、恒温通常負荷試験及び恒温短期負荷試験で合計16週間の追加試験を行った場合とし、試験ルール上許容される最長の期間を費やし、結果として試験結果が芳しくない場合等が相当します。

2 基試験の場合、【試験槽2】では馴養期間8週間、低温負荷試験8週間、追加試験8週間、【試験槽1】では馴養期間8週間、恒温通常負荷試験4週間、恒温短期負荷試験4週間、追加試験8週間となります。

<性能確認試験>

試験予定期間（最大6ヶ月）になります。但し、性能評価試験と同時申し込みの場合、性能確認試験の試験予定期間と性能評価試験の最長期間の合計を示します。

なお、上記グラフにおいては年末年始等で想定される「試験延長措置」をあらかじめ考慮しております。